



池田町各地の公民館や老人施設で皆を笑わせたり、びっくりさせたりと活躍中の上八幡・竹中勝之さんをおたずねして、色々とお聞きしました。

竹中さんのプロフィール

昭和13年4月の生まれで今年76歳・太平洋工業(株)と関連会社に43年間勤務して、製造部門で車の部品作りにたずさわりました。又出向した会社では特殊技術の指導にあたりました。

●手品と腹話術はどうして覚えたのですか

とてもお上手で、プロ顔負けの手品や腹話術ですが、手の内が全く解らず、皆様が感心するばかりですが、どうして手品と腹話術に取り組んだんですか？

「私はカラオケが苦手なんです。皆が歌、歌なら別の趣味を持とうと考えて、ある時手品と腹話術の講座に入ったのがきっかけです。」

●どんな所で披露していますか？ 又今後の目標はありますか



「定期的に6か所の施設を1か月3～4回回っています。その他に年間、各地の老人クラブとか、いきいきサロンの集まりで町内約20か所から声をかけてもらいますので、とても忙しいです。すぐ1か月過ぎてしまいます。」

腹話術の人形や手品の品も全部自分の手作りなんだそうです。まだやってみたい事があるそうですが！何ですか？

「皆様によろこんでもらえる様、もう少しレパートリーを広げて、安来節の「どじょうすくい」など、覚えたいなあ～と思っています。」

●野球も大変お上手なんですね！

「会社にいる時からやっていますが、特に60歳になって還暦軟式野球チームに入り、今では70歳以上の古希の両チームに入って、週に2日～3日グラウンドに行っています。私のポジションは投手・捕手・遊撃です。今元気ですので80歳まで続けたいと、体の事も考えて生活していますよ！」



左から 臼井、渡辺、牧村、竹中

新年度がスタートして、議員の所属委員会等も決まりました。

町民の皆様が従来にも増して、安心して生活していただける町づくりに、行政と共に知恵を出し合いながら、財政の安定と町民生活の向上に向けて、議員一同懸命に努力致してまいります。

『議会改革』も他町に先駆けて、昨年度から取り組んでおります。今月号の9頁をご覧ください。

(議会広報編集委員長 竹中芳弘)

編集後記